

「サークルおに」の実践と学習環境づくり

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

コロナウイルスの影響で一昨年日本中の学校が一斉休校になった際の休校明けに、船橋市立法典西小学校の岩城節臣先生が実践されたという「サークルおに」(※1, 2)を、今年度は高瀬小学校でも実践することにしました。岩城先生に直接問い合わせたところ、気持ちよく教えてください効率的に授業準備をすることができました。



この「サークルおに」は感染症対策の運動というだけではなく、遊び感覚の中で体力を高めることができます。具体的には、追いかける、逃げる時の「瞬発力」や、ライン上を走る、方向変換する、フェイントをかけるなどの「巧緻性」。運動、休憩を繰り返し自然に高まる「全身持久力」など、多くの体力要素が高まります。

今回の「サークルおに」の実践をまとめたものを(株)ロイロに提出しました。実践の詳細を知りたい方はこちらをご覧ください。



ロイロ サークルおに

授業名：サークルおに（感染症対策を講じた運動） 学年：4年 教科：体育 単元：イ 多様な動きをつくる運動（イ）体を移動する運動 指導要領：A 体づくり運動 授業者（学校名）：岩崎 敬（日田市立高瀬小学校）		展開3 使う作戦を整理する クラゲチャートからダイヤモンドランキングにシートを変えて、使う作戦を焦点化していく 対戦しながら見つけたこと（記入シート）
展開1 ルールを覚え、サークルおにを楽しむ 密にならないようグラウンドにある10面のコートに分かれ、サークルおにを楽しむ たくさんサークルおにを行うための準備 ・グラウンドいっぱいコートは10面準備する ・4人で1コート使うようあらかじめグループンギングしておく ・対戦時間を示すBGMは連続再生で流しっぱなしにする ・ルールは子どもたちが理解しやすいよう、説明用動画を準備しておく	展開2 逃げる、追いかけるということに分けて考える いろいろな人と対戦しながら、必要な技をクラゲチャートに書き留めていく 対戦しながら見つけたこと（記入シート）	展開4 作戦を整理した上でサークルおにを楽しむ 自分より足の速い人そうでない人に対して、作戦を選び対戦を楽しむ 経験に書かれる 経験者・10分 シンキングタイムを準備していく

本校グラウンドは水捌けがよい反面硬くなりやすく、「サークルおに」にとっては滑りやすいということも明らかになりました。そのためグラウンドの状態によっては、早朝からグラウンドの水撒きをして子どもたちのケガの防止に心掛けてきました。



また雨天時は室内でも実施できるように、体育館はラインテープを貼るなどして9面準備しました。バスケット用に引かれていたセンターサークルのラインはそのまま活用しました。



実践を通して、子どもたちは鬼遊びが好きなのだと改めて感じたところです。

<参考文献>

- ※1：『体育科教育』2020年10月号（大修館書店） 「教師間の対話で創る『サークルおに』の授業」
- ※2：『体をどんどん動かしたくなる！運動遊び111』（明治図書）p.36